



2024年5月20日

各 位

会 社 名 株式会社芝浦電子
代 表 者 名 代表取締役社長社長執行役員 葛西 晃
(コード番号 6957 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執行役員経営管理部長 星ノ谷 行秀
電 話 番 号 048-615-4000

中期経営計画（2024年度～2026年度）策定のお知らせ

当社は、「われわれは、地球環境を守り、世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と文化の発展に貢献する」という企業目的のもと、継続的な企業価値の向上を目指しています。

経営環境の変化に柔軟に対応するため、ローリング方式で毎年中期経営計画を策定しています。

昨年策定した「中期経営計画 2023-2025」を更新し、2024年5月20日開催の取締役会において「中期経営計画 2024-2026」を策定、決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

<中期経営計画 2024-2026 の概要>

1. 長期経営構想

新たな価値の創造を長期経営構想とし、2024年度から2033年度までの10年間で3つの期間に分け、企業価値の向上を目指します。

- ・ Phase1 成長基盤の整備
- ・ Phase2 成長基盤の確立
- ・ Phase3 さらなる成長

中期経営計画 2024-2026 は新市場の開拓、新製品の開発、多角化、先端技術導入、業務提携・共同開発を実行してまいります。

2. 3つの経営基盤

- ・ 製品開発 顧客ニーズを超える製品の開発
- ・ 生産性向上 製造工程の効率化
- ・ マーケティング 全世界の顧客との連携によるシナジー効果

3. 財務目標

成長の持続性、収益力強化、資産効率を重視した経営を目指し、売上高、営業利益額、売上高営業利益率、自己資本当期純利益率（ROE）を財務目標とします。

	2024年度	2025年度	2026年度
売上高	32,000百万円	35,000百万円	38,500百万円
営業利益額	4,800百万円	6,000百万円	7,500百万円
売上高営業利益率	15.0%	17.1%	19.5%
ROE	10.0%	11.5%	13.5%

※2024年度以降の前提為替レート

1USドル=135円 1中国元=19.0円 1タイバーツ=3.90円 1香港ドル=17.0円
1ユーロ=144円 1韓国ウォン=0.104円

※ 中期経営計画について詳しくは、添付の中期経営計画 2024-2026 を参照ください。

以 上

株式会社芝浦電子 中期経営計画

2024年5月20日

目次

項目	ページ
1. 中期経営計画 2024-2026	3
2. 財務目標	10
3. 事業方針	16
4. サステナビリティ経営	23
5. 参考資料	27

01

中期経営計画 2024-2026

芝浦電子の経営



長期経営構想

新たな価値の創造

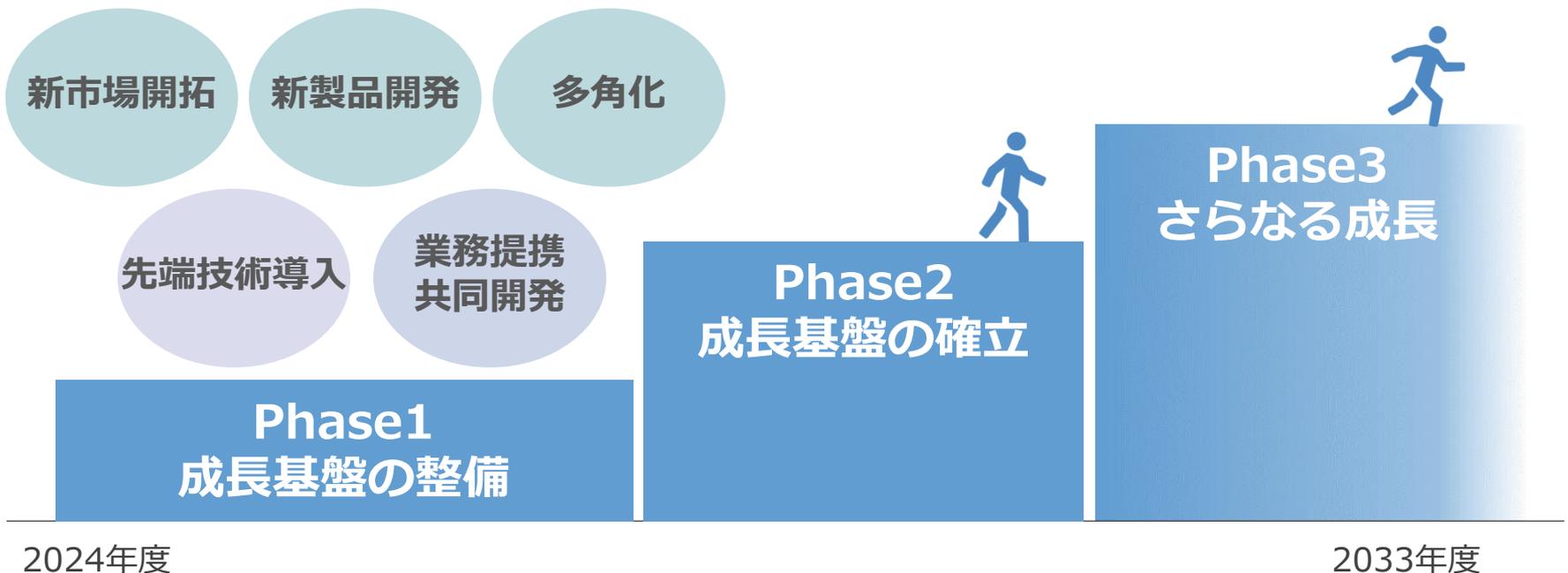
3つの経営基盤

製品開発 生産性向上 マーケティング

長期経営構想

長期経営構想

新たな価値の創造



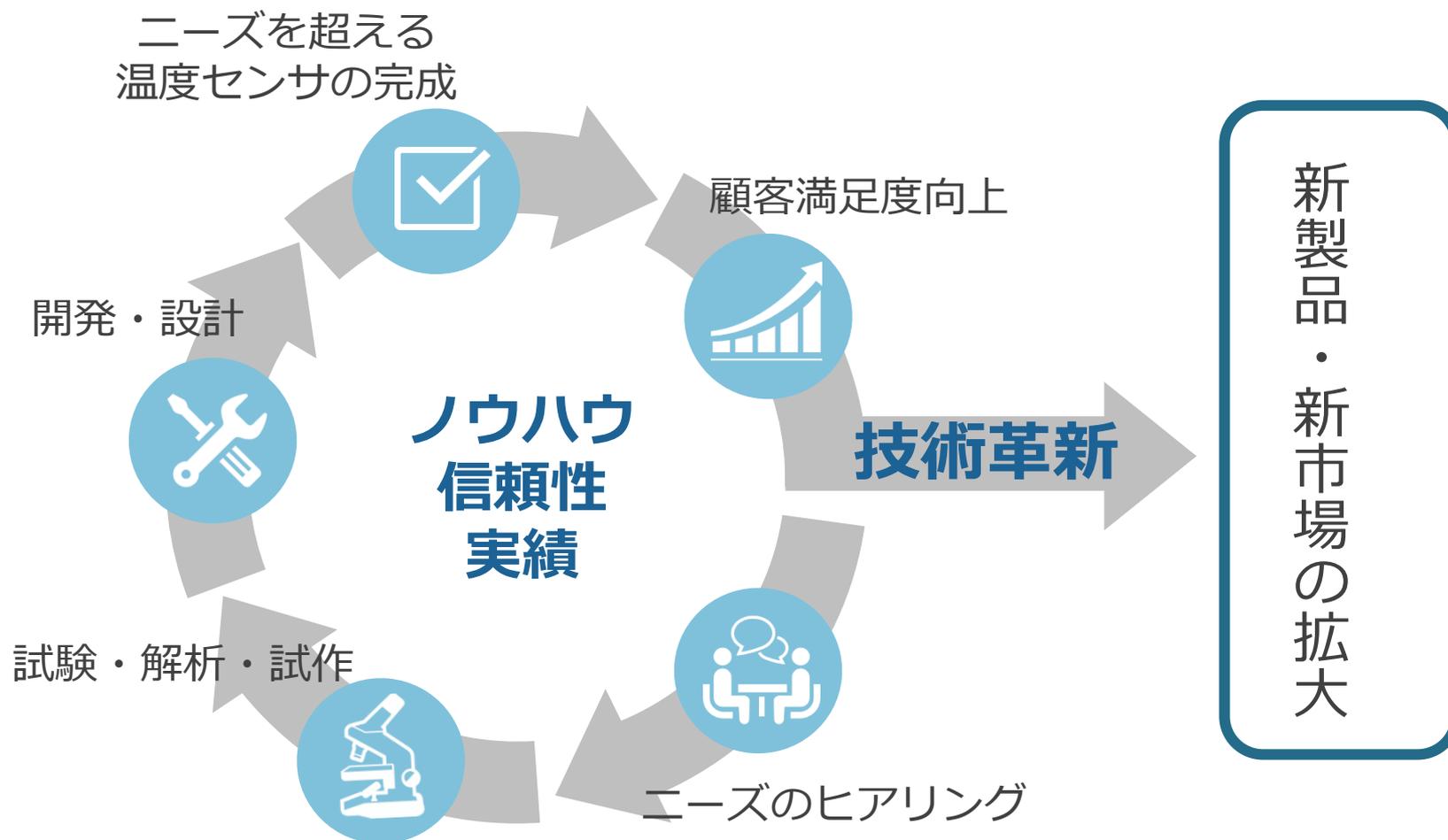
新たな価値の創造

- 芝浦電子グループのさらなる成長のため新たな価値を創造します



3つの経営基盤 1.製品開発

● 顧客ニーズを超える製品の開発



3つの経営基盤 2.生産性向上

● 製造工程の効率化

素子製造

- 海外工場へのライン移管
- 多直化

検査

- AI導入による自働化

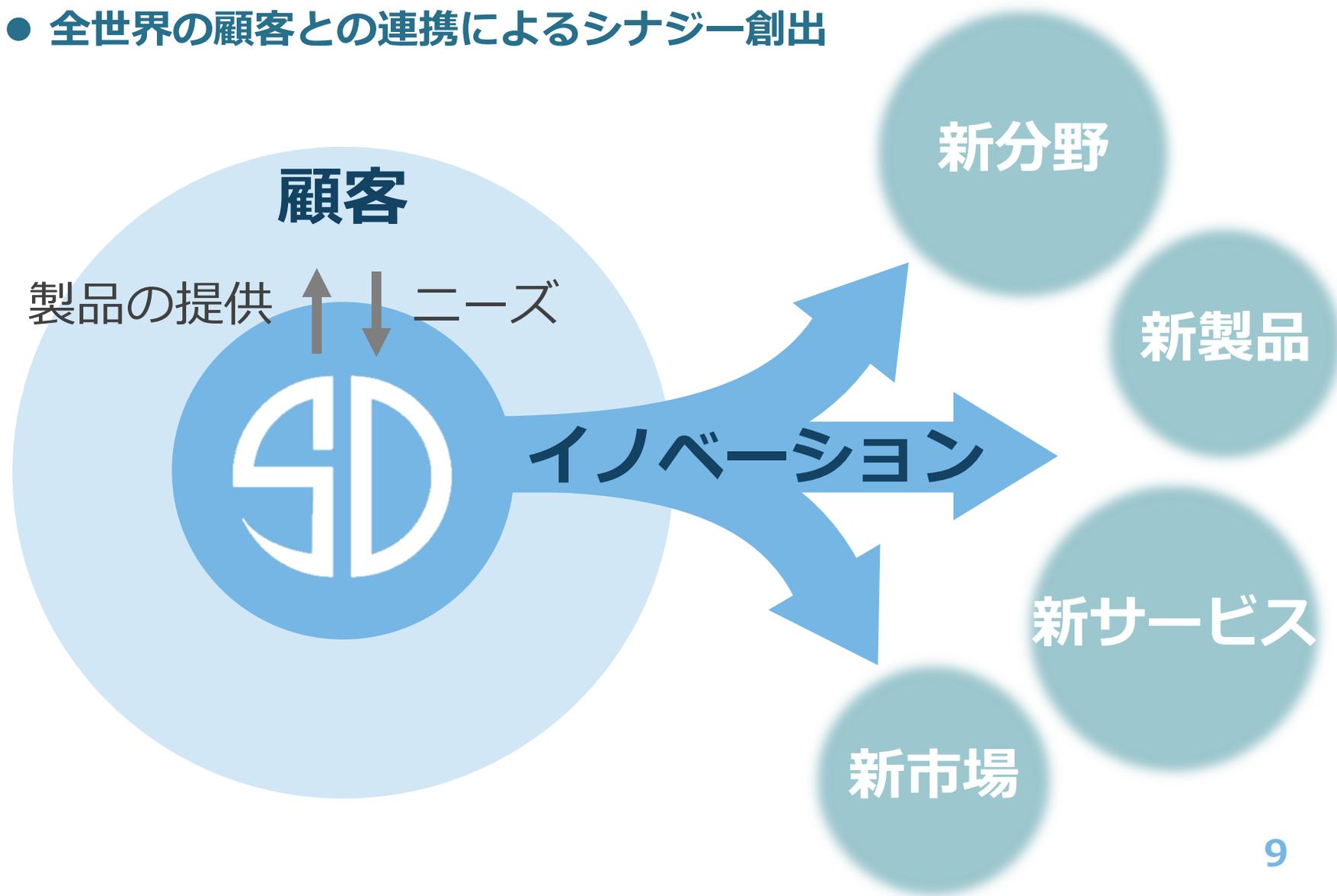
アセンブリ加工

- 協働ロボットによる省人化
- 設備の自社設計バージョンアップ

➡ **1人当たり生産数量の増加**
リードタイムの短縮

3つの経営基盤 3.マーケティング

- 全世界の顧客との連携によるシナジー創出



02

財務目標

中期経営計画 2026年度 財務目標

- 高い収益性を維持しつつ、さらなる成長を目指します



売上高

385

億円



営業利益額

75

億円



売上高
営業利益率

19.5

%



ROE

13.5

%

中期経営計画 2026年度 財務目標

中期経営計画 2024-2026

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 計画	2025年度 計画	2026年度 計画
売上高	332億円	324億円	320億円	350億円	385億円
営業利益額	55億円	51億円	48億円	60億円	75億円
売上高 営業利益率	16.5%	15.8%	15.0%	17.1%	19.5%
ROE	12.7%	11.4%	10.0%	11.5%	13.5%

※2024年度以降の前提為替レート

1USドル=135円 1中国元=19.0円 1タイバーツ=3.90円 1香港ドル=17.0円

1ユーロ=144円 1韓国ウォン=0.104円

※決算の期ずれ解消

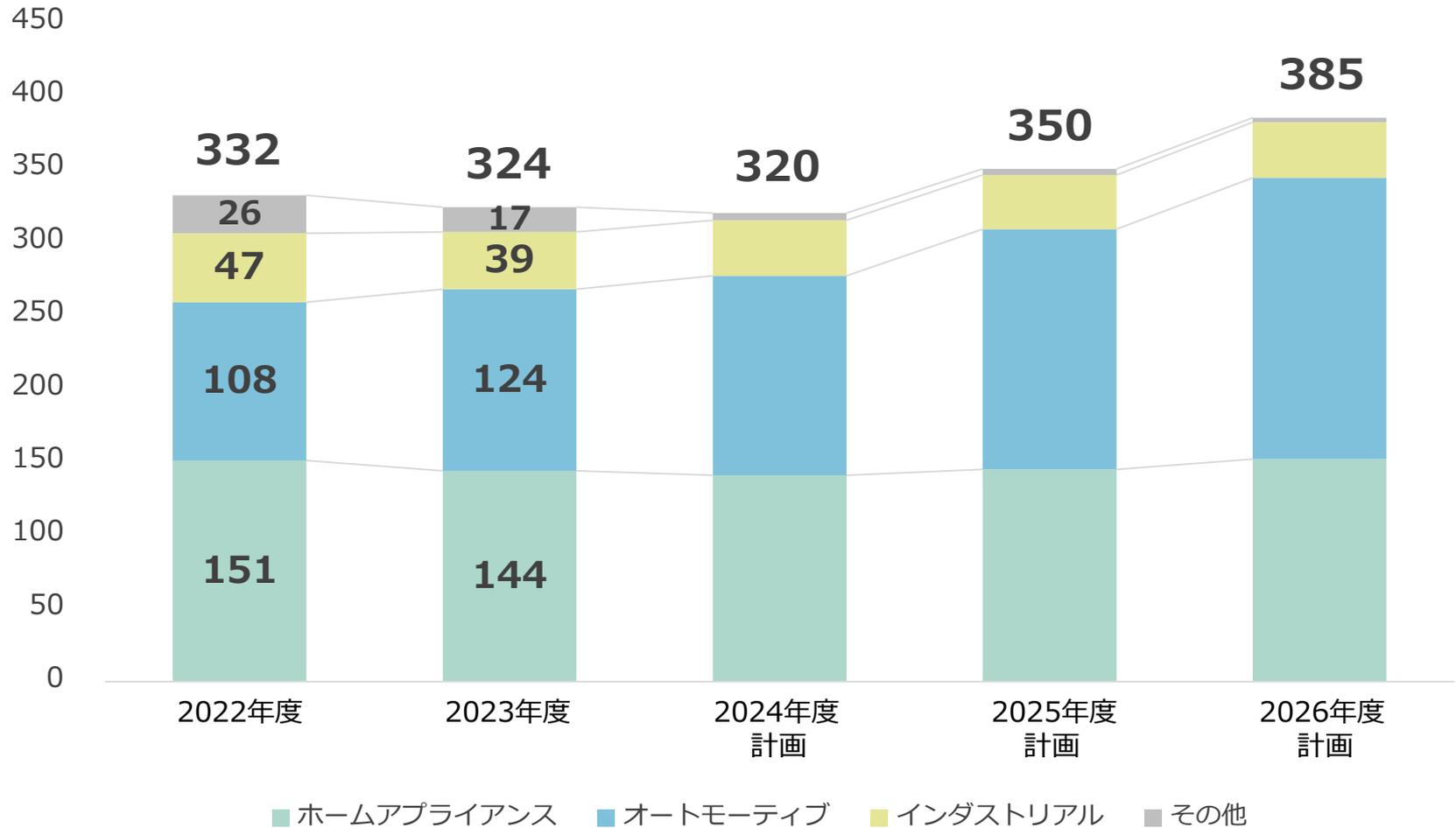
2024年度より、連結の期間を4月から翌年3月までの12か月間とします。

2023年度は連結対象期間を国内は2023年4月から2024年3月、海外は2023年1月から2023年12月としていました。

2024年度決算より、海外子会社の期ずれを解消し、国内と海外で連結対象期間を4月から翌年3月に統一します。

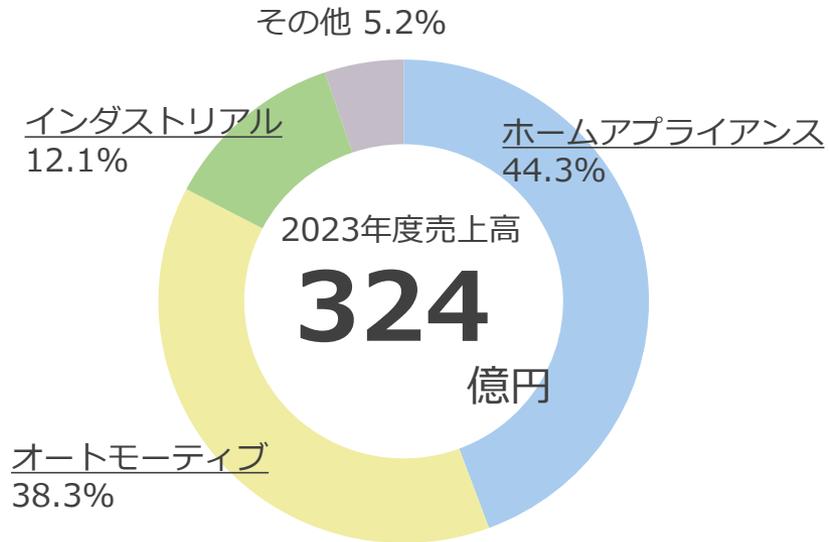
分野別売上高目標

(金額単位：億円)



※ 2023年度より「その他」項目を一部各分野に振り替え

分野別売上高構成比率



オートモーティブ

▶ 環境対応車

- EV車
 - ▶ モーター
 - ▶ バッテリー
- HV車
- PHV車、FCV車



ホームアプライアンス

▶ 省エネ家電

- エアコン
- 電子レンジ
- 給湯器



インダストリアル

- 再生可能エネルギー発電
- 産業用ロボット
- 新規分野等



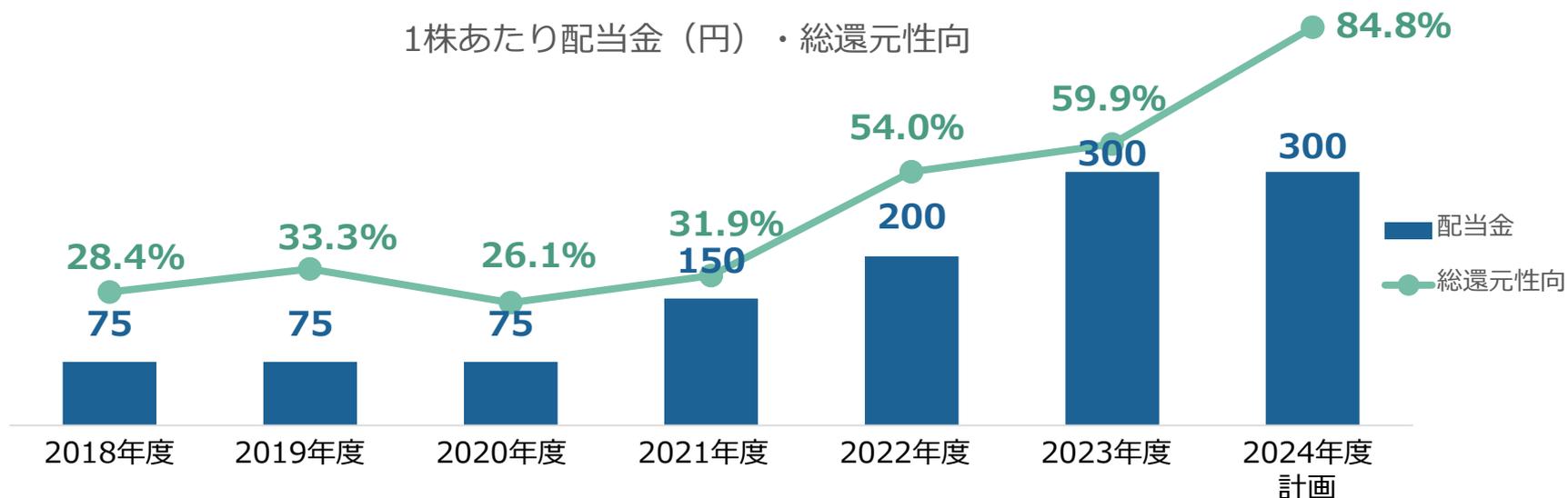
その他

- 医療用等
- 環境等



配当金・総還元性向推移

1株あたり配当金（円）・総還元性向



1株あたり配当金を増配

- 2023年度終了後の配当金を、1株あたり220円から**300円**に修正
- 2024年度終了後の配当金は、株式分割後1株あたり150円（分割前換算300円）
- 1株あたり配当金は、株式分割前を表示

株式分割

- 2024年6月30日を基準日として、普通株式を**1株につき2株**の割合で分割

自己株式取得

- 2024年度に自己株式 100,000株を取得予定（分割後200,000株）
- 上限金額10億円

03

事業方針

拡大する温度センサの需要

グローバル調達

▶グローバル調達推進により、原材料高騰や調達難などのリスクに備えます

- リードタイムの短縮
- 資材調達コストの削減
- 材料の現地調達の推進
- 環境に配慮した原材料の調達
- BCPに則った調達

製品開発方針

▶小型・薄型・高耐電圧化

- 小型大容量化の進む電動部品に「安全・安心・効率化」の提案
- 高温センサの新ニーズ開拓
- 計測温度域の広いワイドレンジ特性素子
- オートモーティブ推進

福島芝浦電子 松川工場 第2号棟増設

● 福島芝浦電子 松川工場の第2号棟増設予定

- 生産能力増強のため、松川工場の敷地内に第2号棟を増設します
- 投資額：10億円程度
- 2024年5月着工予定
- 増設後の松川工場全体の延床面積は6,600平方メートルで、現在の延床面積の約2.2倍となります



製品開発

● 自動車用 角型FCセンサ ラインナップ拡大

電動車用角形FC
センサ標準品



顧客ニーズに合った

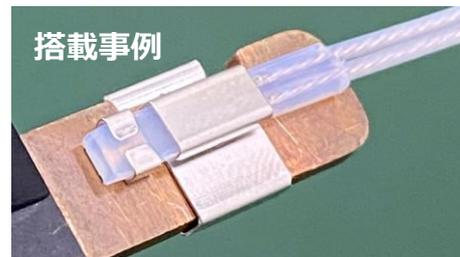
- 取付提案
- アセンブリ加工

クリップ追加 (モーターコイル用)

センサ形状



搭載事例

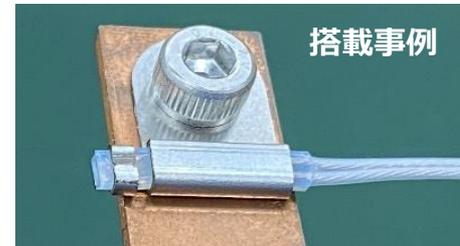


ラグ端子追加 (電流遮断ユニット用)

センサ形状



搭載事例



タイ芝浦電子 太陽光パネル導入 <進捗状況>

● タイ芝浦電子 シンブリ工場にて太陽光パネルを導入

■ 導入目的

- 芝浦電子グループのカーボンニュートラルに向けた目標達成に向けて、太陽光パネルからの電力を使用することで、CO2排出量を削減
- 電気料金の削減

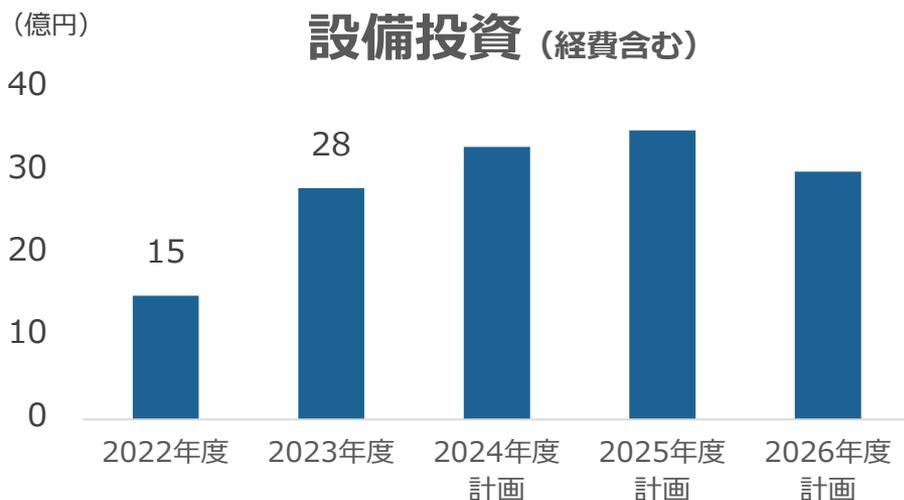
■ 導入スケジュール

1年目	2年目	3年目
Phase 1 4号棟・5号棟	Phase 2 3号棟・6号棟・2号棟	Phase 3 1号棟



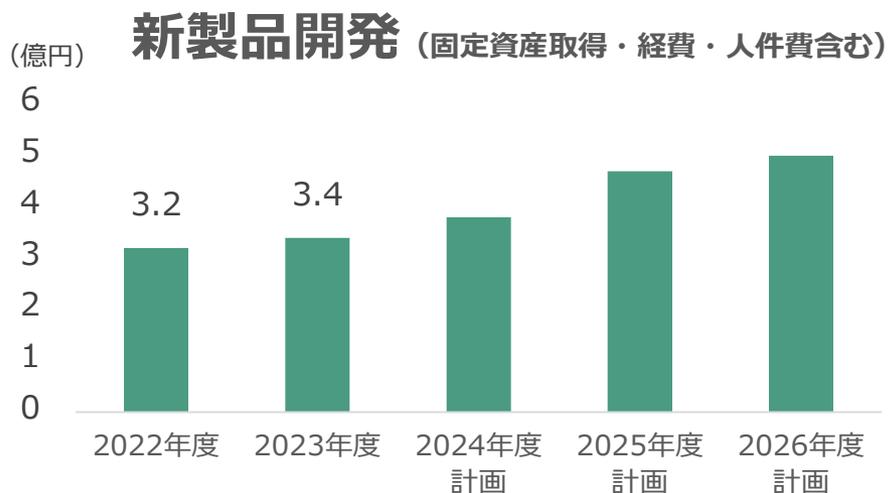
- 2023年12月にPhase1の2棟に太陽光パネルの設置が完了
- 現在の1年間の排出量のうち約13%程度を削減可能に
- 3年で全6棟に設置完了予定
- 将来的には電気使用量の約40%を自家発電で賄うことが可能に

設備投資と新製品開発費用計画



設備投資 (固定資産取得)

- 生産能力強化、生産効率向上のため工場を拡張
- 製造設備の内製化を推進
- 新社屋建設費用を含む



新製品開発費用

- 新分野・新製品開発

マーケティング〈地域別事業方針〉

欧州

- EV車、HV車新分野開拓
- ホームアプライアンス市場の開拓
- 新市場の開拓

日本

- EV車、HV車新分野開拓
- ホームアプライアンス市場の再開拓

アジア

- 中国 EVメーカー向け拡販
- 各国 自動車メーカーへの拡販
- 再生可能エネルギー市場の開拓

アメリカ

- EV車、HV車の新分野開拓
- 新興EVメーカーの開拓
- エアコン市場への参入

04

サステナビリティ経営

持続可能性社会への貢献

- 芝浦電子グループは、持続可能な社会の実現のためのマテリアリティを策定しています

テーマ	マテリアリティ	関連するSDGs
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆安心・安全で高品質な製品づくり ・製品の品質向上、安全・安心の確保 ・新製品の開発 ・生産性向上 	  
環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆気候変動に対応し、地球環境を守る ・2050年カーボンニュートラルの実現 ・環境負荷低減の取組み 	    
人財育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆人権尊重、多様な人財の育成 ・人財育成 ・人権尊重 	 
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ◆ガバナンスの強化 ・ガバナンス強化 ・コンプライアンスの徹底 	  

全ステークホルダーへの貢献

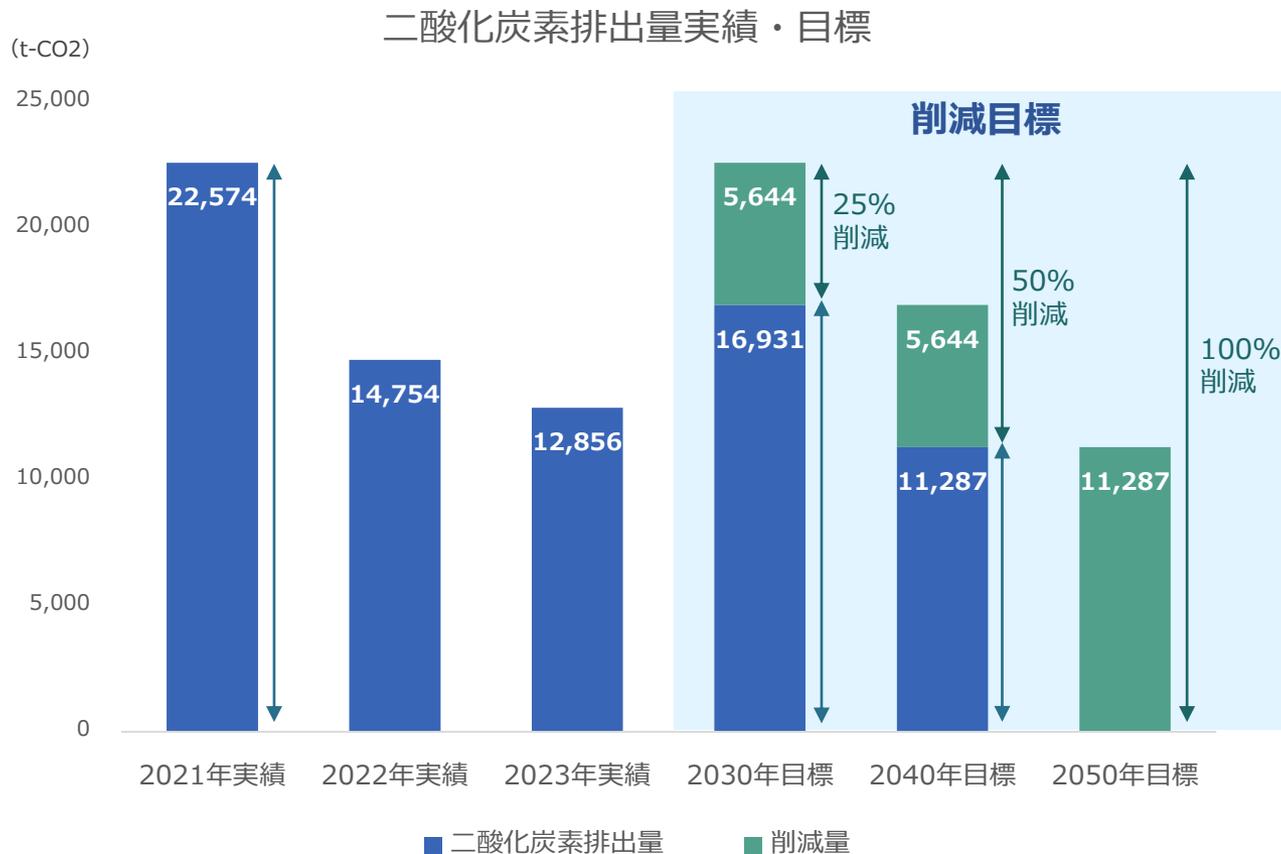
- 芝浦電子グループはすべてのステークホルダーに貢献します



二酸化炭素排出量削減目標

2023年CO2排出量 **12,856 t-CO2** (スコープ1とスコープ2の合計)

→今後の施策：太陽光発電設備等の導入・蓄電設備の導入



削減目標

2030年に2021年比
CO2排出量を
25%削減

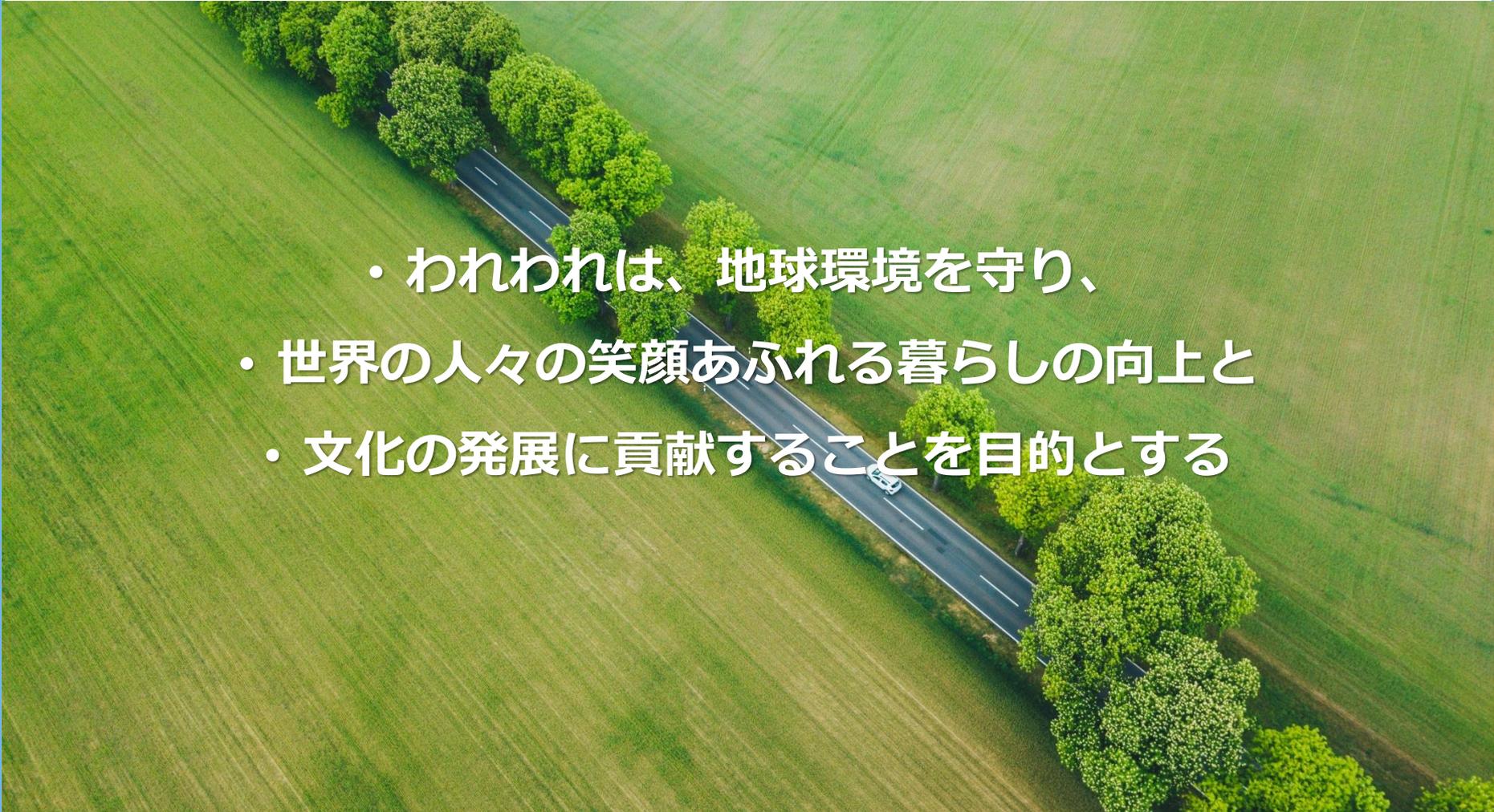
2040年に2021年比
CO2排出量を
50%削減

2050年に
カーボンニュートラル
を実現

05

參考資料

企業目的

- 
- An aerial photograph showing a two-lane asphalt road cutting through vast green agricultural fields. A line of lush green trees runs along the right side of the road, and a single white car is visible on the road. The overall scene is bright and verdant, symbolizing nature and environmental stewardship.
- われわれは、地球環境を守り、
 - 世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と
 - 文化の発展に貢献することを目的とする

会社概要

社名	:	株式会社芝浦電子
創業	:	1953年3月3日
本社	:	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	:	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	:	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	:	2,144百万円
売上高	:	32,401百万円 (2023年度 / 連結)
経常利益	:	5,303百万円 (2023年度 / 連結)
製造拠点	:	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	:	国内3拠点、海外7拠点
従業員	:	4,347人 (2023年度 / 連結)
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード : 6957)
単元株式数	:	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

